

経済学とは？

- みんなが豊かに暮らせる方法を考える学問
- × 金儲けの方法を学ぶ
（＝自分だけの幸せを追求する学問）

社会A

- ・金持ち1人 年収10億200万円
- ・貧乏人1人 年収0円
- ・残りの庶民 年収200万円

社会B

- ・金持ち1人 年収10億円
- ・残りの庶民 年収200万円

社会Aにおいて、金持ちから200万円徴税して貧乏人に配ると、社会Bになる

社会C

- ・金持ち1人 年収10億200万円
- ・貧乏人500人 年収0円
- ・残りの庶民 年収200万円

社会D

- ・全員 年収200万円

社会Cにおいて、金持ちから10億円徴税して貧乏人に配ると、社会Dになる

→ これは望ましい政策か？

社会E ・金持ち1人 年収10億200万10円
・庶民1億人 年収200万円

社会F ・全員 年収200万10円

社会Eにおいて、金持ちから10億円徴税
して庶民に配ると、社会Fになる

- ・民主政治では「庶民に支持される政策」
が実現する
- ・金持ちが少数民族だったら？

経済学者の意見が一致しない理由

- ・結果の平等：全員が同じ所得を得るべき
 - ・機会の平等：全員に同じ機会を与えればよい
- どちらか一方のみを考えるのはダメ
- どっちをどれだけ重視すべきか？
- ・「現在世代」と「将来世代」のどちらを重視？
(環境問題、年金制度、農業保護など)

人は、信じたいことしか認めない

世の中には、「日本は貧富の差が大きい」と
信じている人がいる

（この主張の当否は論じない）

彼らが持ち出すデータ：各国の相対的貧困率
（定義は後述）

貧困率の国際比較(1)

アメリカ	17.3%
日本	15.7%
ドイツ	8.9%
フランス	7.2%
オランダ	7.2%
デンマーク	6.1%

確かに、日本の貧困率は高い！

貧困率の国際比較(2)

日本	15.7%
ギリシャ	10.8%
ドイツ	8.9%
スロヴァキア	7.2%
ハンガリー	6.4%
チェコ	5.5%

- ・日本はギリシャより貧しいの？
- ・ドイツはハンガリーやチェコより貧しいの？

人は、信じたいことしか認めない

相対的貧困率

＝「世帯の可処分所得／世帯員数の平方根」
が、全世帯の中央値の半分に満たない世帯
の比率

- ・全世帯が年収490万円だと、貧困率0%！
- ・世帯の51%が年収1000万円、49%が年収490万円だと、貧困率49%！

国連『人間開発指数2011』では？

所得が「上から20%の人」と「下から20%の人」の所得倍率

日本	3.4	スペイン	6.0
フィンランド	3.8	ギリシャ	6.2
ノルウェー	3.9	イタリア	6.5
スウェーデン	4.0	イギリス	7.2
デンマーク	4.3	アメリカ	8.5
ドイツ	4.3	香港	9.6
オランダ	5.1	メキシコ	14.4
スイス	5.4	ブラジル	17.6
カナダ	5.5	コロンビア	24.8
フランス	5.6		

悪い子にとっての経済学

「当たり前」の論理を積み重ねて、他人の一步先を見通す学問

- 例
- ・日本政府は税収不足
 - ・タバコは健康に悪い



タバコ税を増税すれば、一石三鳥

- ・税収不足が解消する
- ・健康を害する人が減る ⇒ 医療費削減

経済学は、一歩先を考える！

- 1. タバコ税の増税 ⇒ タバコを吸う人が減る
 - ⇒ タバコで健康を害する人が減る
 - ⇒ 医療費が減る + 寿命が延びる
 - ⇒ 年金支給額が増える
 - ⇒ 政府の財政には悪影響！

「増税で税収増加」とは限らない！

2. タバコ税の増税

⇒ 印紙の偽造が「割に合う」ようになる

⇒ 正規のタバコの売上が激減？

⇒ 税収減？

3. 「脱税タバコ」は、マフィアの資金源に

なってしまう！（既に欧州では社会問題化）